

# 発刊にあたり

乳幼児健康診査は、疾病の早期発見や健康の保持増進を目的に実施されていますが、核家族化、少子化などの様々な環境の変化の中で、子育て支援の場としての機能も求められています。

このたび、社団法人新潟県医師会にお願いしまして、理事の諸先生及び乳幼児健診の手引作成委員の先生方の御協力により、昭和59年3月に発刊した「乳幼児健康診査の手引」の第5版として本書が完成いたしました。

特に今回は、近年の乳幼児虐待相談件数及び低出生体重児の増加、発達障害児など気になる子どもや養育者への支援などの重点ニーズに対応するため、大幅に改訂をいたしました。本書が、医師、保健師等、母子保健関係者の皆様から乳幼児健康診査の指針として活用され、安心して子どもを産み育てる支援の一助となりましたら幸いです。

また、本書の姉妹編として発刊した「乳幼児保健指導の手引（第4版）」も併せて御活用ください。

最後に、本書を作成するにあたり、御指導くださいました先生方に深く感謝申し上げます。

平成26年3月

新潟県福祉保健部長

本間俊一

# 発刊にあたり

この度、「乳幼児健康診査の手引」を12年ぶりに改訂いたしました。わが国においては少子高齢化の状況は依然と続いており、来たるべき超高齢化社会への対応が求められています。一方晩婚化、少子化により「子は国の宝」という思いはますます強いものになり、医療の立場からも子どもの健やかな成育は大きな課題であります。

今回は、前回改定以降の各種法改正及び指針の改訂を踏まえての改訂となったわけですが、予防接種や児童虐待への対応、発達障害への支援など、最近の子育て支援に重要な部分が大きく改訂されております。

県からの委託により、新潟県医師会母子保健委員会のメンバーを中心に、分担での改訂作業を行い、さらに充実した素晴らしい改定版が出来上がったと自負しております。

この手引が実際に乳幼児の健康診査に携わる多くの先生に、十分活用していただけることを願っております。とくに若い小児科医にとっては、乳幼児健診の重要性を認識し、常に手元において確認しながら健康診査にあたる格好の教科書となるものと思います。

最後に、本改定版の発行にご尽力いただきました新潟大学医歯学総合研究科小児科学分野齋藤昭彦教授をはじめ、特別委員の先生、母子保健委員の先生、そして県福祉保健部の担当の方々に心より御礼申し上げます。

平成26年3月

新潟県医師会長

渡 部 透

# 目 次

<b>I 乳児健康診査の手引</b> .....	1
1 健康診査の目的 .....	1
2 健康診査の項目 .....	1
(1) 発育栄養状態 .....	1
(2) 精神・運動機能の発達 .....	1
(3) 疾病又は異常 .....	1
3 健康診査実施要領 .....	3
(1) 身体計測 .....	3
(2) 診察 .....	5
(3) 健診時における発達チェック要領 .....	7
(4) 神経学的スクリーニング .....	10
(5) 視覚スクリーニング .....	18
(6) 難聴のスクリーニング .....	20
(7) 産後うつへの支援 .....	24
(8) HTLV-1スクリーニング .....	25
(9) 低出生体重児の健診 .....	26
(10) 歯（口腔） .....	27
(11) マス・スクリーニング .....	28
4 乳児の保健指導 .....	28
(1) 保健指導の要点 .....	28
(2) 母乳哺育のすすめ方 .....	29
(3) 離乳食のすすめ方 .....	29
<b>II 1歳6か月児健康診査の手引</b> .....	34
1 健康診査の目的及び意義 .....	34
2 問診 .....	34
(1) 問診項目 .....	34
(2) 問診項目の解説 .....	36
3 健康診査の実施要領 .....	49
(1) 家族歴 .....	49
(2) 出生歴 .....	49
(3) 既往歴 .....	51
(4) 予防接種 .....	51
(5) 発育 .....	52

4	診察	52
(1)	受診態度	53
(2)	体格	53
(3)	栄養状態	53
(4)	筋骨	53
(5)	診察所見	53
(6)	形態異常	53
(7)	皮膚所見	53
(8)	聴診	53
(9)	腹部	54
(10)	神経学的所見及び運動機能	54
(11)	視覚スクリーニング	54
(12)	聴覚スクリーニング	55
(13)	歯（口腔）	55
5	事後措置	57
<b>Ⅲ</b>	<b>3歳児健康診査の手引</b>	<b>58</b>
1	健康診査の目的	58
2	問診	58
(1)	問診項目	58
(2)	問診項目の解説	60
3	健康診査実施要領	62
(1)	健康診査項目	62
(2)	健康診査方法	63
4	保健指導	63
(1)	栄養指導	63
(2)	生活指導	63
(3)	精神衛生	64
(4)	事故防止	64
(5)	予防接種	64
(6)	疾病対策	64
(7)	育成医療、療養の給付などの医療給付制度や施設入所など福祉制度の該当を検討する	64
5	3歳児の育児・行動上の問題	64
(1)	3歳児の心の特徴（養育者、多くの場合母親からの分離期）	64
(2)	母子分離状態の評価	65
(3)	3歳児の行動上の問題と診断・方針	66
6	診察	69

(1) 目的	69
(2) 診察法	69
(3) 健診項目	69
(4) 幼児の肥満（傾向）の判定基準	70
(5) 3歳児検尿	71
(6) 3歳児視聴覚検査	71
<b>IV 児童虐待の予防と早期発見の視点</b>	<b>78</b>
1 児童虐待の予防と早期発見に向けた乳幼児健診の役割	78
2 健診における育児支援	78
(1) 健診場面での具体的活動の充実について	78
(2) 健診場面でのスタッフの態度について	78
(3) 健診の事後処理について	79
3 児童虐待についての基本的理解	79
(1) 児童虐待とは何か	79
(2) 虐待発生のリスク要因と保護要因	82
4 児童虐待・ハイリスク者の早期発見のための視点	86
(1) 発見のための留意点	86
(2) 観察項目	87
5 児童虐待を疑った場合の対応	88
(1) 健診の場での留意点	88
(2) 児童相談所への通告	88
(3) 健診後の事後フォローについて	89
(4) 関係機関との連携について	90
<b>参考資料</b>	
「遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表（九大小児科改訂版）」	97
「乳児の運動発達」	98
「日本版DDST用紙」	99
「乳幼児の発育値及びパーセントイル曲線（平成12年調査）」	100
「幼児の身長体重曲線」	101
「母子健康記録票」	113

